

「おはよう茨城」で城里町を紹介

茨城県テレビ広報番組「おはよういばらき」(フジテレビ系)の「アイスクリームを探す旅」という特集で、城里町の特産品を使ったアイスクリームが紹介されました。

紹介されたのは七会茶を使ってつくられている物産センター山桜の「やぶきた茶ソフトクリーム」と、JAかつら農産加工所で製造し、特産品直売センター「かつら」やホロルの湯などで販売されている地元産の様々な野菜を使ったジェラート。リポーターの「江戸むらさき」の2人も、めずらしいお茶やゴボウ、黒豆などのアイスクリームには驚いていたようです。

これからアイスのおいしい季節を迎えますので、皆さんぜひお試しください。



▲アイスクリームを試食する江戸むらさき

- 物産センター山桜 ☎0296-88-2300
- ホロルの湯 ☎029-288-7775
- 特産品直売センター「かつら」 ☎029-289-2334

ふるさと女性大学「葦の会」
受講生募集

(社)茨城県ふるさとづくり推進センターでは、地域づくりの中心的存在となる女性リーダーの育成を目的に、ふるさと女性大学を開講します。

講座日程 6日間(7月14日、8月7日、9月16日、10月5日、11月12日、平成22年1月19日)

場所 茨城県総合福祉会館(水戸市千波町1918)

内容 少子化対策、健康、食、介護、地産地消、地域づくり等

受講料 2,000円

募集人数 280人

申込締切 6月30日(火)

申込先・問合せ 産業振興課

☎029-288-3111(内線382)

文芸しるさと

短歌

戦いに夫を失いたるこのおみなよくぞ耐え来し九十七歳まで
梅の花咲き極まりて香に充てり弥生半ばの夕の庭に
編曲の五線音譜に導かれ千人のご詠歌ホールに響む
遊びに来た孫の友達帰りがわおじゃましましたの声響きたり
悔しさに泣きある男の子を抱きしめてやれば温きもの伝ひくる
静の住居気に入りたるらし
春の陽が眩しいほどに溢れるて介護施設に若き等の声
大森 久子

俳句

雨上がり落花まみれの車さし
芹を摘む人びとの声嬉々として
空青し水溜りにも桜葉
卒寿越え桜樂しむ散步径
浜豌豆遠く潮騒聞きあたり
幼稚園はなびら厚く朴咲けり
軽がると土のほぐれて目借どき
飯田 勇一
山崎 正行
森 静江
飯村 愛子
鯉淵寿美恵
飯村 昭子
いそべきよ

雲低く垂れ藤房の重たかり
初蝶の縫れ光のやはらかし
鯉のぼり尾の先までの夢希望
溢れ咲く菜の花古井戸を隠し
免許証に「大正生まれ」桜咲く
にぎやかな蛙の聞こゆ終ひ風呂
鯉幟水田逆さに泳ぎをり
白花のかほりの薄し沈丁花
高橋 芦江
今瀬多代美
田所 厚子
菊川 けき
竹内 幸子
中野千賀子
仲田まらゑ
瀬谷 博子

川柳

まどろみに聞きしラジオの深夜便心ゆたかに生きるを学ぶ
煌き合ふ弥生の星を仰ぎて老いの俸せをちよっぴり感じぬ
「ライトアップ」されし夜桜の「グライダーション」淡きみどりまたくれなるに見ゆ
そ、り立ちて刃の如き男体山の雪山けわし里は桜花舞う
ねんごろにびんころ尊へねがひをり折しも響く寺の鐘の音
芽をかんずる力強さにあじさいは小さな若葉伸びやかに育つ
対岸の桜並木が明るみて大橋渡る楽しみの増す
空晴れて四月十日は桜花盛り柳も青める千波湖半周す
川上千代子
島 愛子
多田志保子
坪井きよ子
萩谷登喜子
富田佐智子

爺と婆八十路レジ機の春さやべつ
城跡に室は春の眺めかな
うぐいすの声も恋しや街の朝
努力賞ババに上げます給付金
若いふり田植に出かけ腰を植え
空青く子供の心タコに聞く
葉桜になってピンクの散歩道
お土産と一緒に配る旅自慢
富田 多蔵
青木新三郎
永井 英陽
中島 芳春
山本 隆莊